

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

年間第 22 主日 22nd Sunday in ordinary time

宴会を催すときには、むしろ、貧しい人を招きなさい (ルカ 14・13)

When you have a party, invite the poor. (Lk 14:13)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15

1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo

Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



聖アウグスチノ祭おめでとうございます!!

Happy Feast of Saint Augustine!!

聖書勉強会

聖書勉強会を原則毎月第4日曜日のミサ後 11:30 より小聖堂で行います。9月は18日(日)です。たくさんの方の参加をお持ちしています。

(宣教部: シスター植木)

桑原篤史修道士初誓願を宣立されました

8月11日(金)に桑原篤史修道士の初誓願式がたくさんの方の神父様とご両親をはじめ、多くの信者と神様が見守るなかアウグスチノ修道会への初誓願を宣立されました。7月23日には松尾太修道士の助祭叙階式が行われ、葛西教会にとって恵み多き夏となりました。おふたり、おめでとうございます。

献堂 50 周年記念事業第 5 期献金報告

2016 年第 5 期報告 (7 月末現在)

申込者数: 22 名 (目標: 200 名)

献金合計: 629,500 円(目標: 3,000,000 円) 1 期からの合計は 11,059,317 円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

50 周年ロザリオの祈りの報告(2016 年分)

7 月 22 名 277 環です。累計で 78 名 1,271 環です。今年は 3,000 環が目標です。よろしくお願い致します。(50 周年委員会)

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals 11,059,317 yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Catechism for Graders & Parents

Every Sunday from 3:00pm, Catechism for elementary graders is taught, Interested applicants, please register to Fr. Jess

ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は、9月15日(木)、10月20日(木)、11月17日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。

共同祈願の祈り

神は、へりくだるものを
高めてくださる。

その他今後の予定

08月28日(日) 年間第22主日 アウグスチノ祭 Feast of St. Augustine
09月04日(日) 年間第23主日 交換ミサ 葛西⇔小岩
09月11日(日) 年間第24主日
09月18日(日) 年間第25主日 交換ミサ 葛西⇔潮見
09月25日(日) 年間第26主日 トマス金鍔治兵衛会昼食会

今週の掃除は9月3日(土)
南葛西・江東地区です。皆様ご参加ください。
This Week's Church Cleaning Duty
September 3rd Saturday
Minami-Kasai・Koto Group

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように聖堂との境からタイル2枚分(約60cm)あけて並べて下さい。

献堂50周年記念事業準備
葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。



『年間第22主日』C年

今日の福音 ルカによる福音 (14:1, 7-14)

安息日のことだった。イエスは食事のためにファリサイ派のある議員の家にお入りになったが、人々はイエスの様子をうかがっていた。

イエスは、招待を受けた客が上席を選ぶ様子に気づいて、彼らにたとえを話された。「婚宴に招待されたら、上席に着いてはならない。あなたよりも身分の高い人が招かれており、あなたやその人を招いた人が来て、『この方に席を譲ってください』と言うかもしれない。そのとき、あなたは恥をかいて末席に着くことになる。招待を受けたら、むしろ末席に行って座りなさい。そうすると、あなたを招いた人が来て、『さあ、もっと上席に進んでください』と言うだろう。そのときは、同席の人みんなの前で面目を施すことになる。だれでも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。」また、イエスは招いてくれた人にも言われた。「昼食や夕食の会を催すときには、友人も、兄弟も、親類も、近所の金持ちも呼んではならない。その人たちも、あなたを招いてお返しをするかも知れないからである。

宴会を催すときには、むしろ、貧しい人、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人を招きなさい。そうすれば、その人たちはお返しができないから、あなたは幸いだ。正しい者たちが復活するとき、あなたは報われる。」

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to Luke (14 : 1, 7-14)

Come up higher, my friend

On a sabbath day Jesus had gone for a meal to the house of one of the leading Pharisees; and they watched him closely. He then told the guests a parable, because he had noticed how they picked the places of honor. He said this, "When someone invites you to a wedding feast, do not take your seat in the place of honor. A more distinguished person than you may have been invited, and the person who invited you both may come and say, 'Give up your place to this man.' And then, to your embarrassment, you would have to go and take the lowest place. No; when you are a guest, make your way to the lowest place and sit there, so that, when your host comes, he may say, 'My friend, move up higher.' In that way, everyone with you at the table will see you honored. For everyone who exalts himself will be humbled, and the man who humbles himself will be exalted."

Then he said to his host, "When you give a lunch or a dinner, do not ask your friends, brothers, relations or rich neighbors, for fear they repay your courtesy by inviting you in return. No; when you have a party, invite the poor, the crippled, the lame, the blind; that they cannot pay you back means that you are fortunate, because repayment will be made to you when the virtuous rise again."

This is the Gospel of the Lord

いつくしみの特別聖年のための祈り

主イエス・キリスト、

あなたは、わたしたちが天の御父のようにいつくしみ深い者となるよう教え、

あなたを見る者は御父を見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまなごしによって、

ザアカイとマタイは富への執着から解き放たれ、姦通の女とマグダラのマリアは、

この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。

ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、悔い改めた盗人には樂園が約束されました。

あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。

このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。

あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますように。

あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、

心から思いやることができるようお望みになりました。

これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感ずることが出来ます

ように。あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。神のいつくしみの聖なる年が、主の恵みに満ちた一年となり、

あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧されている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げることが出来ますように。

この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、

御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおささげいたします。 アーメン。

いつくしみの特別聖年を過ごすために

免償（注1）をいただく為に例えば次のような清めと償いの行いが勧められています。

- 1) 指定された聖堂を訪問（注2）して所定のお祈りをし（教皇による特別聖年の祈り）、信仰宣言を唱える。
- 2) 司祭からゆるしの秘跡を受けまた聖体拝領する。
- 3) 聖書を通して神の慈しみを深く黙想する。
- 4) 神のいつくしみになつた行いを実行する。

注1：「免償」とは教会が定めた条件のもとに償いの効果をもたらす罰を免除することです。

注2：指定聖堂は東京カテドラル聖マリア聖堂、築地教会、神田教会、麹町教会、八王子教会、西千葉教会。（東京教区の歴史を振り返っていただきたいという思いからです）